

## 令和3年度 実施事業の概要

教育事業名: 妙高自然体験活動指導者養成研修 ・夏

期間 令和3年5月21日(金)～23日(日)

対象及び参加人数: 大学生 学校教員 その他

目的: ・自然体験活動の指導者として幅広い知識と技術をもち活躍できる人材の育成  
 ・妙高のフィールドを生かした自然体験活動指導者の育成  
 ・自然体験活動指導者としてのスキルアップと資質の向上

## 事業概要:

上記目的のため、事業を実施した。38名(社会人31名、大学生7名)が参加した。

各講習及び講師は、以下のとおりである。

【指導者としての心得】: 富坂 一長 氏 (NPO法人妙高山麓自然体験活動指導者会 理事長)

【子供達への接し方と指導の工夫】: 関原 真紀 氏 (上越教育大学 准教授)

【自然体験活動の安全管理・妙高の自然と「遊ぶ・学ぶ」】: 瀧 直也 氏 (信州大学 講師)

【妙高アドベンチャー】: 丸山 能通 氏、金巻 知子 氏 (NPO法人妙高山麓自然体験指導者会)

【源流探険】: 澤田 賢一 氏、岡部 雅代 氏 (NPO法人妙高山麓自然体験指導者会)

【森探険】: 山口 紀子 氏、水島 健吾 氏 (NPO法人妙高山麓自然体験指導者会)

【自然体験活動の概要 他】: 小林 朋広、村松 研一、鹿島 真由美 (国立妙高青少年自然の家 職員)

## 成果:

1日目は「理論編」として、指導者として心掛けたいことや様々な特性をもつ子供の理解、新学習指導要領改訂のポイント、自然体験活動における安全管理等について学んだ。妙高の自然と「遊ぶ・学ぶ」では森のビンゴを通して、楽しみながら自然物の見方や感じ方の多様性に気付くことができた。2日目、3日目は実際に妙高アドベンチャーや源流探険、森探険で子供たちの指導にあたっているNPO法人妙高山麓自然体験活動指導者会の方から、指導の実際や子供の学びを引き出す問いかけ等について学んだ。

部分参加可能とした結果、これまで参加したことがない方も参加しやすくなり、38名の参加を得た。また、参加者のうち5名がNPO法人妙高山麓自然体験活動指導者会に入会し、2名がその後の研修を受け、指導者として活躍している。



## 課題:

指導員が減少傾向にあり、若手の育成に目を向け、広く参加者を集めていく必要がある。

保育園、幼稚園、小中学校など利用する団体が、自然の家での体験活動の幅を広げることができるようにするため、先生方が参加しやすい日程を考慮する。